

宮 陵 会 報

2006・7

Kyu-Ryo

No.82

発行責任者
社団法人 宮 陵 会
広報委員会

〒221-0802
横浜市神奈川区六角橋3-27-1
神奈川大学内
TEL 045-481-5661
(内線 2451~3)
FAX 045-413-0791
印刷所 株式会社 江森印刷所



Mount McKinley

神 奈 川 大 学 山 岳 部 マ ッ キ ン リ ー 登 頂 に 成 功 !!

セブンサミットプロジェクト第5峰、マッキンリー遠征隊8人(学生2人OB6人)は6月19日登頂に成功し、6月27日無事帰国しました。



Contents No.82

平成18年度 第1回代議員会・通常総会開催／会費改定 … 2～3
 平成17年度事業報告及び収支決算書 …………… 4
 平成18・19年度事業計画及び収支予算書 …………… 5
 本部だより …………… 6
 準会員ニュース …………… 7～9
 第12回ホームカミングデー／神大フェスタ・平塚祭他 …………… 10
 結婚記念を思い出の地で／神大の歴史(24) …………… 12



平成一八年度 第一回代議員会・通常総会開催

会長挨拶

狩野 七郎



早いもので新

執行部が勤め始
めて一年がたち
ました。本宮陵
会が、学校、卒
業生、在学生、

そして社会のた
めに何ができ
るかを考え、透
明性と公開性を
保ち、会の運営
については時間
をかけない形で
具体的に実行し
ていきたいと考
えてまいりました。
前職ま
での役員の方
々が長年かけて
検討されてきた
問題は、企画委
員会が組織の問
題、財政
検討委員会が財
政基盤の確立の
問題、そして
定款等検討委員
会が本会の定款
等の変更と規則
の改正問題であ
ります。それぞ
れの問題を具体
的に改善するため
に、副会長を委
員長として鋭意
検討を加えてま
いりました結果
、このたびの通
常総会に、定款
の変更と定款施
行規則の改正案
として提案させ
ていただいたと
ころでございます。
代議員会さらに
総会において
は、会員の皆様
方の貴重なご意
見を頂戴し慎重
なる審議のうえ
ご承認いただき
ました。衷心か
ら御礼申し上げます
とともに感謝申
し上げる次第で
す。特に定款の
変更が成立した
ところは、国会
で公益法人の改
正法案が成立し
たところであり
、管轄省庁の承
認をいただくこ
とになりま
す。いずれに
しましても、長
年の懸案事項に
つきましても、
具体的にそし
て柔軟に対応す
る体制づくりの
一歩を踏み出
せたことを感謝
申し上げます。
今後も会員の
皆様のご理解
とご協力をお願
い申し上げます。

代議員会報告

第一回代議員会は、総数三七八名中三〇八名(委任状一八七名を含む)の出席のもと有効に成立要件を満たし開会された。第一号議案、平成一七年度収支決算報告に関する件、第二号議案、平成一八年度補正予算に関する件が諮られ、質疑応答の後、原案どおり可決承認された。第一号議案一七年度事業については、当年度予定事業を経費の軽減を図りつつ執行したことが報告され、これに伴う収支状況については、収入の部で準会員会費収入増により予算比一、二〇〇万円増、支出の部で事業費が予算比一、五五〇万円の節減、特に広報費は発送費等の調達努力と合理化により九七〇万円の節減、管理費も四三〇万円の節減となり、当期収支は三二〇万円のプラスとなった。しかしながら、今後の財政見通しは決して楽観できるものではなく、準会員数の減少による減収と会員数の増加による広報費等の経費増は避けられない状況となっている。第二号議案の一八年度補正予算では、事業計画として、神奈川大学の進展と維持に必要な援助の項目内容を奨学金の充実と実情に合わ

せ、会員相互の連携強化ほかでは、本会の目的達成に資するため、財政基盤の確立、組織の拡充、設立七〇周年記念事業を新たに項目として掲げた。これらの事業を執行する予算として、事業費九、二〇〇万円、管理経費一、八六〇万円を計上した。事業費では、母校の準会員を対象とした奨学金の増額、会員増加に伴う広報費の増額。管理費では、会費管理システムの再構築に伴う委託費の一次的増額。積立金では、七〇周年記念事業の積立金などを計上した。一八年度予算では、当期収支はマイナスであり、前期繰越収支差額を充当することとなるため、事業執行にあたってはこれまで以上に効率化を図り、支出経費の節減に努めることが重要である。その他、前回の代議員会において審議された、定款の変更に関する件については、文語の一部修正などの意見を踏まえ今回の定款変更原案とした経過が報告された。

通常総会報告

二八日の午後から開催された通常総会は、正会員九九、八四三名中三、七五二名(委任状三、五九八名を含む)の出席のもと、定款第三五条の規定に基づき有効に成立し、議長大澤武法氏、副議長に下山貞明氏が選任され開会された。

会長狩野七郎から、これまでの多くの役員が長年かけて検討してきた懸案を本日審議していただくこととなった経過と、本会がどのような方向に進むのが良いか、何が一番当会に相応しいかを検討する際の前提となる定款変更の趣旨などの挨拶がされた。

審議は、平成一七年度第二回代議員会で審議承認された案件、平成一八年度第一回代議員会で審議承認された案件が諮られ、第一号議案平成一七年度収支決算報告に関する件は、

事業報告、収支決算報告の説明に続き、監事三宮政俊が監査報告を行い、採決の結果原案通り可決、承認された。引き続き第二号議案平成一八年度事業計画の変更及び補正予算に関する件については、事業計画の変更案ならびに収支予算の変更について専務理事平能孝一、財政委員長佐藤智久の説明ののち、原案通り可決、承認された。第三号議案平成一九年度事業計画及び収支予算に関する件についても、それぞれ執行部から説明があり、採決の結果原案通り可決、承認された。第四号議案社団法人宮陵会定款の変更に関する件については、副会長武笠健次より、定款変更原案に至るまでのこれまでの検討経過と提案趣旨の説明があり、今回の変更点は最小限に絞って、運営上支障のある箇所を見直し、今後の社団法人のあり方によっては解散の方向をも見据えた解散条項の緩和などを検討する等重要な案件であることが述べられた。会員からは、会費納入と会員資格の関係、会費滞納による権利の停止と会員資格との関係などについて活発な意見がよせられた後、挙手による採決の結果、賛成多数により可決、承認された。

最後に、第五号議案社団法人宮陵会定款施行規則の改正に関する件について、副会長磯邊晃より平成一三年度から理事会内に財政検討特別委員会を設置し検討してきた経過が説明された。収入構造は、収入のほとんどが会費収入であり、そのうちの九五％は準会員に大きく依存していることから、正会員からの会費収入比率をあげる必要があること。昭和五九年から二〇年間にわたって会費改定が行われず、財政シミュレーション、終身会費推移表などの諸表に見られるよう、一〇年間の一人あたり費用は年約二、二〇〇円かかっていること。終身会費は三〇、〇〇〇円にいたっているが、一四年で費消してしまう計算になることから、終身会費を納めた会員からも、終身会費納入後二一年目から維持会費を納入

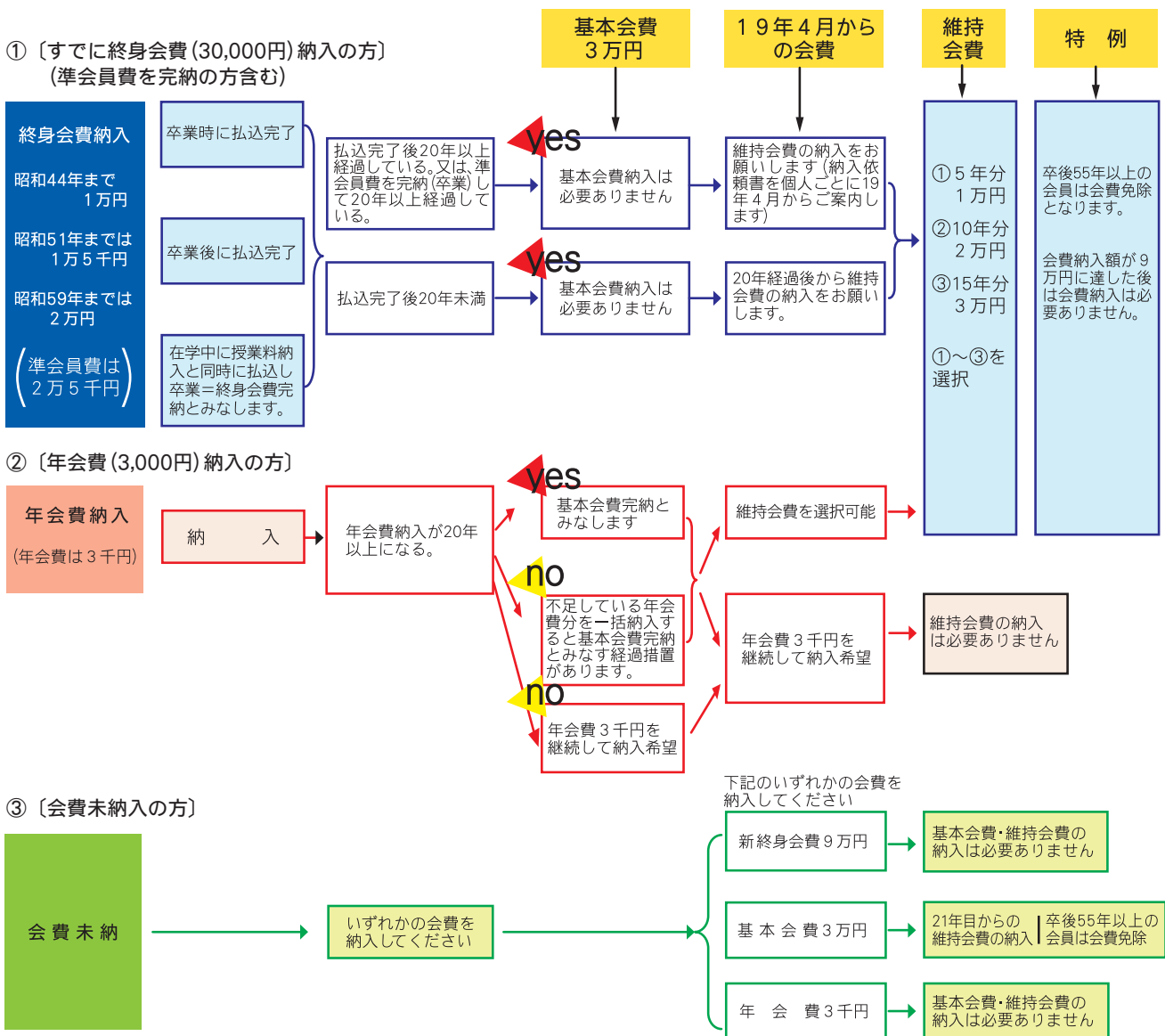
していただくこととした趣旨の説明があった。また、今後は、会員個人の会費納入状況などを計算し維持会費の納入を案内させていただくこととし、平成一九年四月一日以降から取り扱う旨の補足説明がされた。その後の質疑応答では、総論賛成、納入率を高めるための割引制度の検討等活発な意見の後、挙手による採決の結果、賛成多数により可決、承認された。その他、地区支部会の設置に関する質問や大学への要望などの意見をいただいた後閉会した。

次に学校法人神奈川大学白井宏尚理事長から、私学経営の環境は人口動態などからも分かるように厳しいサバイバル競争が続く状況であり、受験生減少傾向が続いているなか、本学は前年比四、〇〇〇名の受験者増の結果であったことは大健闘と考えている。新学部・新学科の新設など一八年ぶりの改革の成果であり、この増傾向を来年度にも継続していきたい。今年度は一六億の黒字で運用可能資産も三四〇億円になったことなど、更なる財政基盤の強化を目指したいと考えている。新司法試験の結果が九月に発表になり各大学の実力が測られ、本学の結果も期待されている。課外活動も全般的にレベルアップし、スポーツ奨学生に対する奨学金も本会からいただき強化に役立たせていただいているとの挨拶があった。

続いて、神奈川大学山火正則学長からは、二〇〇六年度からの教育組織の改編と新学部新学科の増設、学科名称の変更などによる教学改革の内容について、詳細に説明があった。また、一連の改革では、例えばII部廃止に至っては夜間コマを存続させ、学費を軽減させる奨学金の導入など有職者への配慮も行うなど創立者米田吉盛先生の建学の精神を尊重して実施したこと、また、大学院の充実と母校出身教員の養成がこれからは必要であることなど力説された。

社団法人宮陵会会費改定

1. 年会費 年会費3,000円は据え置きます。
2. 基本会費(新設) 基本会費は30,000円とし、一時に納入するものとします。(終身会費納入の方は必要ありません)
3. 維持会費(新設) 維持会費は年2,000円とします。(ただし手続き簡素化を図り、5年分維持会費10,000円、10年分維持会費20,000円、15年分維持会費30,000円のいずれかを一時に納入するものとします。)
4. 終身会費(改正) 改正後の新終身会費は、90,000円とします。



会費について御不明な点は宮陵会事務局までお問い合わせください。

収 支 決 算 書

平成17年4月1日から平成18年3月31日まで

(一般会計)

(単位:円)

科 目	予算額	決算額	増 減
I 収入の部			
1 財産運用収入	1,000,000	1,179,452	△ 179,452
受 取 利 息	1,000,000	1,179,452	△ 179,452
2 会 費 収 入	98,000,000	110,193,000	△12,193,000
正会員会費収入	6,000,000	5,873,000	127,000
準会員会費収入	92,000,000	104,320,000	△12,320,000
3 雑 収 入	1,200,000	788,389	411,611
会誌広告料	700,000	438,000	262,000
その他収入	500,000	350,389	149,611
当期収入合計	100,200,000	112,160,841	△11,960,841
前期繰越収支差額	50,607,558	50,607,558	0
収入合計	150,807,558	162,768,399	△11,960,841
雑収入(寄付金内訳40,000円)			
30,000円 南足柄支部			
10,000円 松尾勇治(昭39経)			

科 目	予算額	決算額	増 減
II 支出の部			
1 事業 費	95,845,000	80,319,738	15,525,262
大学主催事業協賛費	7,000,000	5,400,000	1,600,000
給付奨学金	8,000,000	8,000,000	0
特別給付奨学金	19,000,000	19,000,000	0
学生課外活動援助等事業費	19,954,000	16,295,653	3,658,347
(クラブ活動等助成費)	(6,000,000)	(6,000,000)	(0)
(特別事業費)	(3,055,000)	(2,038,311)	(1,016,689)
(体育振興費)	(2,414,000)	(2,103,812)	(310,188)
(入学卒業関係費)	(8,485,000)	(6,153,530)	(2,331,470)
組 織 費	10,778,000	12,605,480	△1,827,480
婦人会員特別事業費	663,000	404,476	258,524
広 報 費	28,000,000	18,263,671	9,736,329
事業諸費	2,450,000	350,458	2,099,542
2 管 理 費	25,660,000	21,319,368	4,340,632
会 議 費	1,510,000	1,015,334	494,666
人 件 費	17,030,000	16,049,313	980,687
通 信 運 搬 費	1,260,000	666,343	593,657
印刷・消耗品費	4,560,000	2,427,901	2,132,099
消耗什器備品費	200,000	0	200,000
慶 弔 費	900,000	991,815	△91,815
雑 費	200,000	168,662	31,338
3 積 立 金 支 出	7,400,000	7,309,389	90,611
別途積立金支出	7,000,000	7,000,000	0
奨学金積立金支出	400,000	309,389	90,611
4 予 備 費	21,902,558	0	21,902,558
予 備 費	21,902,558	0	21,902,558
当期支出合計	150,807,558	108,948,495	41,859,063
当期収支差額	△50,607,558	3,212,346	△53,819,904
次期繰越収支差額	0	53,819,904	△53,819,904

平成17年度事業報告書

(一)代議員会

- 1 日 時 平成17年5月29日(日) 10:30~
場 所 神奈川大学16号館 セレストホール
議 案 第1号議案 平成16年度収支決算報告に関する件
第2号議案 平成17年度補正予算に関する件
第3号議案 役員の選任に関する件
- 2 日 時 平成18年3月12日(日) 13:30~
場 所 神奈川大学16号館 セレストホール
議 案 第1号議案 平成18年度事業計画の変更及び補正予算に関する件
第2号議案 平成19年度事業計画及び収支予算に関する件
第3号議案 社団法人宮陵会定款の変更に関する件
第4号議案 社団法人宮陵会定款施行規則の改正に関する件

(二)通常総会

- 日 時 平成17年5月29日(日) 13:30~
場 所 神奈川大学16号館 セレストホール
議 案 第1号議案 平成16年度収支決算報告に関する件
第2号議案 平成17年度事業計画の変更及び補正予算に関する件
第3号議案 平成18年度事業計画及び収支予算に関する件
第4号議案 代議員の承認に関する件
第5号議案 役員の承認に関する件

表 彰

(三)事業内容

1. 神奈川大学の進展と維持に必要な援助
 - (1) 大学公開講座の協賛
 - (2) ホームカミングデーの協賛
 - (3) 「神大スポーツ・文化振興会」賛助金募集
 - (4) 卒業祝賀パーティーの共催
 - (5) 奨学金の給付及び貸与
 - イ 在学生を対象として、人物・学業ともに優秀な者への奨学金の給付(800万円)
大学院 12名 総額4,900,000円
学部 10名 総額2,662,000円
神奈川大学学費減免奨学生基金 438,000円
 - ロ 特別給付奨学金(1,900万円)
経済的困窮者対象給付奨学金 2,000,000円
課外活動支援特別給付奨学金 14,000,000円
特定給付奨学金 3,000,000円
 - ハ 在学生を対象として、経済的援助を行うための奨学金の貸与(52件)
 - (6) クラブ活動等援助及びスポーツ大会等開催、体育の振興
 - イ クラブ活動等に対する援助(48団体)
 - ロ ブロック別ふるさと懇談会・交流祭・スポーツ大会等
 - ハ 新入生歓迎地引網・バーベキュー大会(平塚キャンパス)
 - ニ 体育の振興のためのOB指導者に対する交通費援助等
 - (7) 新入生へ記念品の贈呈(校歌 コンパクトディスク)
 - (8) 新卒業生へ記念品の贈呈(CD-ROM) = 大学と共催
2. 会員相互の連携強化、その他本会の目的達成に付随する事項
 - (1) 会誌54号、会報80・81号・新入生特集号・新卒生特集号の発行
 - (2) 会費納入の促進
 - (3) 北海道ブロック・東北ブロック・北陸ブロック・近畿ブロック・四国ブロック・九州ブロック会への参加、支部等の活動費助成
 - (4) 支部設立及び再建支援
 - (5) 全国支部長会議の開催
 - (6) 神奈川大学VISAカードの入会促進及び提携店拡大
 - (7) その他目的達成に必要な事業を実施

本部だより

三浦半島支部(神奈川県)発足!!

六月二十四日設立総会開催される

初代支部長に古川 勝彦氏(40経卒)が就任



古川 勝彦氏(40経卒)が初代支部長に就任されました。

去る六月二十四日

初代支部長に古川勝彦氏(昭和40年経済学科卒)が就任しました。

支部発足の記念講演会として神奈川大学名誉教授(元経済学部教授)山口徹先生にご講演いただきました。

「三浦半島支部設立総会」が開催されました。

講演終了後、一号館モニユメント前で記念撮影、そして懇親会が行われました。何十年かぶりで来学された卒業生方は、キャ



◆新支部紹介◆

三浦半島支部

(平成18年6月24日設立総会、7月21日理事会承認)

支部長 古川 勝彦(昭40経)

◆新支部長紹介◆(本部届出順)

神奈川県庁支部

北見支部

神奈川大学内校友会支部

平塚支部

羽田 慎司(昭46法)

橋爪 修三(昭43法)

工藤 邦男(昭45機)

金子 三夫(昭28電)

濱菊会支部

計報

謹んでお悔やみ申し上げます

藤原 強 殿

元神奈川大学工学部教授
平成18年1月12日ご逝去

橋本 光憲 殿

元神奈川大学経営学部教授
平成18年3月26日ご逝去

手嶋 貴昭(平4法)

神奈川県下他市の支部は限なく設立されていますが、横須賀、鎌倉、逗子、三浦、葉山の四市一町に在住している卒業生約五、〇〇〇人をカバーする支部組織はありませんでした。昨年のホームカミングデー参加の有志が発起人となり、設立の運びとなりました。当日は、狩野宮陵会会長の挨拶ののち、三浦半島支部会則、支部役員を選任、平成18年度事業計画、収支予算が承認されました。特に支部会則の目的では、会員相互の親睦、学校法人神奈川大学・社団法人宮陵会及び「地域社会の発展に寄与すること」を掲げております。

女性会員のつどい

- 日時 平成18年10月29日(日) 11時30分から14時
- 会場 ヨコハマグランド インターコンチネンタル ホテル 31階 驛驪(かりゅう)
- 内容 準総会・懇親会

功績表彰(表彰規程第2条第1号該当)

本部 関係

■渡辺 徳平(昭30法卒)

元会長・副会長・専務理事・理事・監事

功労表彰(表彰規程第2条第2号該当)

本部 関係

■川岸 一正(昭16.12機卒)

元代議員会議長・代議員会副議長・理事

■皆川 潔(昭31工経卒)

元副会長

感謝表彰(表彰規程第2条第3号該当)

本部 関係

■島津 英郎(昭34経卒)

元理事

■貝田 泰雄(昭38法卒)

元理事

■瀬尾 博(昭43経卒)

元理事・組織委員会委員長

■小林満喜子(昭44建卒)

元理事

支部 関係

■佐藤 康彦(昭30法卒)

元札幌支部事務局長

■安田 公明(昭34経卒)

元帯広支部副支部長

■藤倉 揚造(故人)(昭32貿卒)

元岩手支部会計幹事・監査・顧問

■田岡 通里(昭35貿卒)

元愛知みやも会支部支部長・副支部長

■井上 敏弘(昭31経卒)

元兵庫支部副支部長

■野田 清(昭22経卒)

元香川支部支部長・副支部長

■草津 愼郎(昭39経卒)

元佐賀支部事務局長

■西山 年雄(昭30短法卒)

元藤沢支部幹事長

■三竹 武(故人)(昭30法卒)

元平塚支部支部長・副支部長

平成18年度 社団法人宮陵会 スポーツ課外活動支援特別奨学生

2006年5月11日本館にて社団法人宮陵会スポーツ課外活動支援特別奨学生の採用式が行われました。採用者はつぎの4名です。

■硬式野球部

法学部法律学科 金子 勝平
人間科学部人間科学科 梶 竜一郎

■陸上競技部

人間科学部人間科学科 染谷 和則
人間科学部人間科学科 森本 卓司

※給付額は入学金・年間学費を合わせた額です。

「Kyuryo」No.55訂正のご案内

「Kyuryo」No.55に誤りがありましたので、左記のように訂正させていただきます。

3頁2段目 戦時下の学生の記事中

「県立二中」↓「県立横浜第二中」

サッカー一部

前期リーグ戦・堂々の首位!! これからも精進し1部昇格を目指します!!



関東2部リーグ参戦2年目となる今季、皆さんの熱いご声援のおかげで前期リーグを首位で折り返すことができました。サッカー部一同感謝するとともに、これからも精進し1部昇格を目指していきます。

さて、前期リーグは、7勝2敗2分という結果でした。どの試合も、雰囲気良くチーム一丸となって戦い抜くことができました。どの試合も一人一人が気持ちを持って試合に臨んだことが、この結果に繋がったのだと思います。しかし、その中でも、さまざまな修正すべき課題が見つかりました。後期に向け、その課題をしっかり修正していきたいです。そして、後期リーグでは、またひとつ成長した神大サッカー部を見せていきたいと思いますので、今後とも応援よろしくお願ひします。
(学生トレーナー 辻村 尚志)

準硬式野球部

春季リーグ戦 13勝1敗で見事優勝!! 第58回全日本大学準硬式野球選手権大会に出場決定

私たち神奈川大学準硬式野球部は、平成18年4月～6月にかけて行われた、平成18年度春季リーグ戦を13勝1敗という成績で優勝しました。その結果8月25日より石川県金沢市にて行われる第58回全日本大学準硬式野球選手権大会に出場することが決定いたしました。3年前は愛知県名古屋市で行われたのですが、その時は1回戦で負けてしまったので、今年は少なくとも1回は勝ち、その勢いに乗って優勝を狙っていききたいと思います。

今回のリーグ戦ではケガ人が続出し、本来のポジションではないポジションを守らざるを得ない試合が多々ありました。慣れないポジションだけにエラーやミスがありましたが、逆にチーム全員で勝ってきたという印象があります。全国大会もチーム一丸となって勝利に向っていききたいと思います。

全国大会は石川県金沢市の県立野球場、市営野球場、津幡運動公園野球場で行われます。8月25日が開会式で26日より試合が行われる予定です。ぜひ見に来ていただけたらと思います。どうぞよろしくお願ひします。
(主務 澤本 喬)



ボウリング部

東アジア選手権 個人戦5位 トリオ戦銀メダル!! 6月21日～30日 於 香港



6月21日～30日まで香港で開催された東アジア選手権に出場しました。成績は個人戦5位、トリオ戦銀メダル、出場選手の中で上位16名によるマスターズ戦では9位と納得のいかないまま帰国することになりました。

5月に行われた国内におけるアマチュアボウラーの最高のタイトルである全日本選抜選手権(NHK杯)に優勝し、好調を維持したまま臨みましたがレーンコンディションにうまく合わせるできませんでした。

今後出場予定のインドネシアで開催されるアジア選手権大会(8月8日～)、韓国で開催される世界選手権大会(8月26日～)、カタールで開催されるアジア競技大会(12月1日～)すべての大会で金メダルを目指して頑張ります。

(法学部 自治行政学科 佐々木智之:写真中央)

硬式野球部

春季リーグあと一歩及ばず…

暖かい御声援ありがとうございました

春季リーグ戦は暖かい御声援ありがとうございました。今春は横浜商科大学に9季ぶりに勝点を奪われるなど苦しい戦いを強いられました。関東学院大学戦においても粘りに粘った末、あと一歩及ばず負けてしまい、優勝を逃してしまいました。4年生の大半は春で引退し、就職活動に汗を流し、頑張っています。

引退された4年生の熱い思いを後輩たちがしっかりと引き継ぎ、今日も汗と泥まみれになりながら一生懸命に練習に励んでいます。この熱い思いと悔しい思いを胸に夏の厳しい練習を乗り越え、そして初心に帰り、ひとつひとつのプレーを大切に全員野球で秋季リーグ戦も優勝目指して部員一同、全力で戦っていきます。

今後も暖かいご支援ご声援の程、宜しくお願い致します。

(主務 高橋 一彰)



陸上競技部

関東学生陸上競技対校選手権大会
ハーフマラソン優勝!!第38回全日本大学駅伝予選会
参加20校中 総合5位!!

本選出場決定!

関東学生陸上競技対校選手権大会が、5月13・14・20・21日の4日間にわたり盛大に行われました。神大勢の主な成績としては、ハーフマラソンでの優勝を始め、400m、走幅跳、女子三段跳、やり投げ、リレーで入賞するなど、4年生の活躍が目立ちました。

そして6月24日には、第38回全日本大学駅伝予選会が行われ、神大は参加20校中で総合5位に入り、無事本選への出場権を手に入れました。今年も混戦となった予選会は、どのチームも一歩も油断の出来ない厳しい状況下にありましたが、多くの観客や各校の応援団の熱い声援の中、とても白熱したものとなりました。

今年は、本命の箱根駅伝でシード権を逃すという、最大の屈辱を喫しました。10月に行われる予選会では必ず出場権を獲得し、本選では上位に食い込む良い

走りをしたいと思います。

また陸上競技部全体としても一回り成長し、皆様のご期待に応えられますよう全力を尽くして参りますので、応援よろしくお願いたします。

(マネージャー 篠原 美希)

平塚軟式野球部

2年連続 リーグ優勝!!

「日本一」を目指し全日本選手権出場へ

私たち平塚軟式野球部は、2年連続でリーグ優勝を果たし全日本選手権に出場致します。昨年の全日本選手権ベスト16で敗退してから、「日本一になる」という強い信念のもとにチーム一丸となり考え取り組んでいます。しかし、これまでの過程は決して平坦なものではなく、本当に多くの喜怒哀楽を仲間と共に経験しました。昨年以上に心身共にレベルアップした今年、チーム一丸となり全国制覇を成し遂げたいと思います。

また、現在も多くの方々に応援して頂き、今の私たちがあります。応援して下さる方々への恩返しのためにも、全身全霊で大会に臨みたいと思っています。これからも『神奈川大学』という名を背負い、日々前進していきたいと思いますので、ご指導・ご声援のほどよろしくお願い致します。(主将 早川 侑介)

※全日本大学軟式野球選手権大会は、8月6日(日)～10日(木)まで熊本県藤崎台県営野球場、熊本市水前寺球場、崇城大学球場で行われます。



アドベンチャー クラブ

コンセプトは「活動場所は地球!!」 今年も世界へと飛び出す!



春季に群馬県で開かれる「日本リバーベンチャー選手権大会」という国内最大級のラフティングの大会がある。ラフティングとはゴムボートで激流を下るスポーツで、この大会は今年で30回を迎えた歴史ある大会である。この日本リバーベンチャー選手権大会（通称リバベン）は、実は神奈川大学アドベンチャークラブが30年前に第1回大会を主催したのが始まりだ。この大会の最大の特徴は、すべて学生ボランティアによって運営されている点にある。全国の大学の探検部や冒険部の4回生がオフィシャルスタッフとして大会を運営するのだ。今年の大会でも、アドベンチャークラブは上位入賞することができた。そんなアドベンチャークラブの本業は冒険。長期休暇には国内にとどまらず、海外の砂漠、山、川、海、ジャングル等をフィールドに活動している。「活動場所は地球」をコンセプトに、今年も世界へと飛び出す!

(主務 増田 絵理)

レスリング部

上昇気流へ!レスリング部

4月23~24日にJOC杯全日本ジュニア選手権大会が行われ、ジュニアの部（20歳以下）で経営学部国際経営学科3年生峯村亮が第2位に入り、ジュニア・アジア・レスリング選手権大会（UAE・アブダビ）へ2年連続で日本代表として出場することとなりました。また、この他にも3名がベスト8に入る好成績を残しました。

続く、団体戦の主眼としている5月11~22日に行われた東日本学生リーグ戦では、Aリーグ7位に入りましたが、昨年と順位はかわらず現状維持という結果となりました。大接戦のうえ、今年は昨年以上の結果を目標として臨み、僅差で敗れた試合もあっただけに不本意な結果に終わりました。

毎日積み重ねてきた練習の成果を、個人戦だけではなく団体戦においても結果を出すことが今後の課題であると感じています。今夏のインカシをはじめ、残る大会に好結果を残せるようチーム一丸となって上昇気流に乗っていきたいと思います。今後も、レスリング部への応援よろしくお願いたします。(主将 小原 大成)



8月以降の課外活動大会等予定表

団体名	大会名称	開催日	会場
空手道部	第42回和道会全国空手道競技大会	8月19日(土)	浦安市運動公園総合体育館
		8月20日(日)	日本武道館
準硬式野球部	第58回全日本大学準硬式野球選手権	8月25日(金)~8月30日(水)	石川県野球場、金沢市民野球場、津幡運動公園野球場
少林寺拳法部	第40回少林寺拳法全日本学生大会	11月5日(日)	日本武道館
体操部	第60回全日本学生体操競技選手権大会	8月8日(火)~11日(金)	町田市立総合体育館
		第18回全日本学生テコンドー選手権大会	10月8日(日)
テコンドー部	第17回全日本フルコンタクト・テコンドー選手権大会	11月19日(日)	後楽園ホール
		日本学生トライアスロン選手権大会	8月20日(日)
軟式庭球部	第60回文部科学大臣杯全日本大学対校ソフトテニス選手権大会	8月7日(月)~9日(水)	岩手県北上市 和賀川グリーンパークテニスコート
		第61回三笠宮賜杯全日本学生ソフトテニス選手権大会	8月10日(木)~13日(日)
平塚軟式野球部	第29回全日本大学軟式野球選手権大会	8月6日(日)~10日(木)	熊本・藤崎台県営野球場、熊本市水前寺球場、崇城大学球場
陸上競技部	第38回秩父宮賜杯全日本大学駅伝対校選手権大会	11月5日(日)	愛知県 熱田神宮~伊勢神宮
		第83回東京箱根間往復大学駅伝競争予選会	10月21日(土)
レスリング部	全日本学生レスリング選手権大会	8月24日(木)~27日(日)	大阪 金岡公園体育館
		全日本学生レスリングフリー王座決定戦	9月15日(金)
管弦楽団	第50回定期演奏会	12月23日(土)	鎌倉芸術館大ホール
		東関東吹奏楽コンクール	9月9日(土)
吹奏楽部	第54回全日本吹奏楽コンクール	10月28日(土)	宇都宮市文化会館
		神奈川大学吹奏楽部第42回定期演奏会	1月6日(土)

Welcome to kanagawa University

カンザス大学の学生来日！ ようこそ!!

湘南ひらつかキャンパスへ

ア メリカ合衆国カンザス州ローレンス市にあるカンザス大学の学生7名、教員2名が、6月6日、本学との大学間交流協定に基づく日本語・日本研究プログラムのため来日しました。カンザス大学の学生達は、7月10日までの約5週間、日本に滞在し、その間本学の学生との交流を深めながら、湘南ひらつかキャンパスで「日本語」「日本事情」の授業に参加するなど日本についての理解を深めました。また、さらに滞在期間中の一週間は各ホストファミリーのお宅に滞在。学生だけでなく様々な出会い、交流をしたようです。

カンザスへは、本学からも交換留学生を派遣するほか、経営学部のスタディ・アブロード(海外研修)でも学生が訪れるなど交流を続けています。今後ますます両校の絆を深め、学生間、大学間で活発な交流が継続されることが期待されます。



+



【第12回ホームカミングデー】

- 期日 平成18年10月15日(日)
- 時間 12時より
- 場所 神奈川大学横浜キャンパス 体育館

卒業生が母校に集い、新たな出会いと親睦を深めつつ本学の発展を支えていく事を目的として開催されるホームカミングデーは、今年で12回目を迎えることになりました。母校を訪れていただくための年1回の催しです。

懐かしい学び舎で旧友、ゼミ、研究室の仲間達に逢えることができるかもしれませ

ん。
昔のままの建物やお店はもうないかもしれませんが、新しくなったキャンパスをご覧になる絶好のチャンスです。学生気分に戻りのんびりと一日を過ごしてみませんか？多くの皆様のご参加をお待ちしております。

今年招待する方は、次のとおりです。

- ① 昭和31年以前の卒業生
- ② 昭和46年の卒業生
- ③ 昭和61年の卒業生
- ④ 平成8年の卒業生
- ⑤ 平成18年の卒業生

右記の皆様には9月上旬に招待状を発送いたします。右記以外の卒業の方も参加できます。参加希望の方は、はがき、電話、FAXのいずれかの方法で下記事務局までお申し出ください。(参加費無料)

ホームカミングデー実施事務局
〒221-8686 横浜市神奈川区六角橋3-27-1
神奈川大学総務部総務課

TEL ○四五-四八一-五六六一(代)
FAX ○四五-四九一-七九一五

【第14回湘南ひらつかキャンパスホームカミングデー】

- 期日 平成18年10月29日(日)
- 時間 12時30分より
- 場所 神奈川大学 湘南ひらつかキャンパス 厚生棟 第二食堂

ホームカミングデー実行委員会
〒259-1293 平塚市土屋2946
神奈川大学湘南ひらつかキャンパス事務部 学生課

TEL ○四六三-五九一-四一一(代)
FAX ○四六三-一五八一-九六八八

第18回 『輝ける華』 平塚祭

～主役は君だ～

10月28日(土) 29日(日)

"華"とは平塚祭に関わる一人一人のこと。それぞれが輝き、それぞれが主役となる華やかな学園祭にしたいという思いを込めました。

第8回 神大フェスタ

「きっかけは神大生」

11月4日(土) 5日(日)

今年で8回目、大学祭になって2年目を迎える神大フェスタ。神大フェスタを通じて、神奈川大学ともしっかり向き合ってもらうための「きっかけ」になってもらいたい、そんな思いがテーマには込められています。

出張オープンキャンパス in 新潟

神奈川県が新潟へやって来る!

開催日 8月20日(日) 13:00~16:00

会場 ホテル日航新潟

Program

- 大学紹介 / 神大の学部学科や入試制度をご紹介
- バーチャルキャンパスツアー / キャンパス内をご案内
- 体験授業 / 大学の授業をのぞいてみよう
- 受験対策! 神大生の体験談+神大クイズ
- 個別相談会 / 疑問・質問はお気軽に、スッキリ解決して受験に臨もう

保護者の方もご参加いただけます。多くの方のお越しをお待ちしております。ご参加にはお申し込みが必要です。下記の事項を明記して、ハガキ、FAXまたはメールで入試センターにお申し込みください。8/16(水)締切です。

- ①住所 ②氏名 ③高校名・学年 ④電話番号

申込
問合せ先

神奈川県入試センター

〒221-8624 横浜市神奈川区六角橋3-26-1
電話 045-481-5857 / FAX 045-481-5759
E-mail AdmissionCenter@kanagawa-u.ac.jp

受講生
募集中

神奈川県みなとみらいエクステンションセンター <KUポートスクエア>



ビジネス/資格取得/パソコン/語学/文化・教養など多彩な生涯学習講座を開講中

神奈川県が MM21地区に開設したエクステンションセンター<KUポートスクエア>では、幅広い世代に向けた生涯学習講座が充実しています。ビジネスに役立つ実践講座から短期間で手軽に身に付けることができるパソコン講座、各界の著名人による連続講演会や歴史・文学・芸術・現代社会問題などを取り上げる文化・教養講座など各種公開講座を開講し

ています。神大生はもちろん卒業生も割引料金(一部の講座を除く)で受講できます。また、横浜キャンパスでも資格取得、文化・教養講座を開講しています。

<お問い合わせ>

広報事業課
TEL 045-481-5661 info@ku-portsquare.jp

◆10月から始まる後期も豊富なラインアップ

著名人による連続講演会 9月下旬スタート予定
「日本の文化と文学—移ろいゆくものを見つめて」

- ・活力ある経営—リーダーシップの本質
- ・経理実務入門 ・労務管理入門
- ・タイムマネジメント
- ・カラーコーディネーター(A・F・T3級)
- ・医療事務 ・介護事務
- ・Word/Excel/Power Point/Access
- ・TOEIC®/ビジネス英語/中国語
- ・韓国語/フランス語/スペイン語
- ・アロマセラピー入門
- ・リフレクソロジー入門
- ・テーブルコーディネーター
- ・網野善彦の著作を読む
- ・ヨーロッパの王妃
- ・入門俳句実践講座
- ・江戸の浮世絵
- ・『ダ・ヴィンチ・コード』を原書で読む
- ・民俗学への招待
- ・『平家物語』のやさしい読みかた
- ・戦国・安土桃山時代の社会
- ・中国—水と古代の都市をめぐる旅
- ・名画で旅するヴェネツィア
- ・エッセイの書き方 ほか



左端がKUポートスクエアのあるクイーンズタワーA

後期ガイドは8月下旬に発行予定です。



〒220-6014 横浜市西区みなとみらい2-3-1 クイーンズタワーA 14階
TEL 045-682-5553 http://www.ku-portsquare.jp

アクセス 東急東横線直通みなとみらい線 みなとみらい駅徒歩2分・JR桜木町駅徒歩7分 開館 10:00~21:00(日曜~18:00) 休館 月曜・祝日、大学所定日

平日夜間・土日も充実の100講座 資料請求受付中 URLからも資料請求・受講申込ができます。

KUポートスクエアでは、生涯学習・エクステンション講座の実施のほか、リーガルクリニック(法律相談)や各種セミナー・研究会も行われています。

結婚記念を思い出の地で！

一組は大学で記念撮影

もう一組は地元六角橋商店街を提灯行列



6月17日 六角橋商店街

もう一組は箱根駅伝の応援がとりもった鈴木永尚さん(平15自治)・香織さん(歴民 旧姓:小垣)夫妻。神大フェスタ創立者でもある永尚さんは、六角橋商店街のイベント運営にも深く関係。その商店街が結婚祝いとして提灯行列を企画。狭い仲見世商店街を練り歩く二人を買い物客の皆さんも一緒に祝福した。

共に幸多かれ！



5月13日 10-41教室

Congratulation

神大の歴史(24)

上原 専禄 先生

上原専禄先生(主要業績は『上原専禄著作集』上原弘江編、評論社)は、東京商科大学の教授で横浜専門学校創立の年から非常勤講師として商業政策、経済史を担当し学生への教育を行うとともに横浜専門学校の研究面でも若手教員のリーダーであった。

一九三八(昭和十三)年に設立された横浜専門学校商経法学会の活動に参加し、同年十二月に創刊された『商経法論叢』に上原は巻頭論文「古ゲルマン農制の若干問題」を執筆、また同じく非常勤講師だった東京商科大学の中山伊知郎も第二論文「資本形成に於ける自由と統制」を執筆、同誌に論文を執筆した横浜専門学校の若手専任教員久武雅夫や沼田嘉穂らに大きな影響を与えた。横浜専門学校商経法学会は神奈川大学商経法学会へと引き継がれ、一九六五年に法経法学部の法学部と経済学部との分離独立によって法学会と経済学会となり現在に至っている。また、上原や中山は横浜専門学校



上原 専禄 先生

の学生の刊行誌にも寄稿し学園の研究活動を牽引した。上原は戦後一九四六年に東京産業大学(現一橋大学)の学長を務め、戦後結成された大学基準協会の役員にも就任、文部省の大学設置委員会の委員となり新制大学の設置にも大きく寄与した。また、上原は一九四九年に発足した新制神奈川大学の顧問となっている。上原は、戦後一九四六年十二月に学生たちによって創刊された『横浜専門学校新聞』を新制神奈川大学発足後引き継いだ学生新聞『神奈川大学新聞』にも「学問の探求」(一九五〇年四月第五号)などを寄稿し積極的に学生たちに大学論を展開した(上原の戦後改革期における大学論は近年注目を集めている―鳥居朋子「戦後教育改革期における上原専禄の大学教育論」(『名古屋高等教育研究』第四号、二〇〇四年)。また、上原は、公職追放解除の教員(大熊信行、高山岩男)や一般教養の教員(山本新、信太正三、草薙正夫)を中心として一九五二年神奈川大学内に創設された「近代思想研究会」の活動に参加、研究会の成果『世界危機と現代思想』(草薙正夫・山本新編、理想社、一九五四年刊)にも一文を掲載している(「フアウスト」第一部における学問の蔑視)。神奈川大学の近代思想研究会はその研究活動が認められて一九五四年に現在の神奈川大学人文学会に発展的に改組しているので上原は神奈川大学の学会(商経法学会と人文学会)結成とその活動に大きく貢献しているといえる。